



□□ _____ □□

1. お知らせ… ぽちぽちと入会あり
本メルマガで3月から新入会員紹介が始まる

□□ _____ □□

ぽちぽちですが法人会員や個人会員の新入会員が増えています。
うれしいですね。新たな会員がどのような事業を行い、どのような
経営者なのか、なぜネットワークに加入したのかを知りたいですね。
個人会員もなぜ入会したのか、どのような活動を期待しているのか
などを教えて欲しいですね。
そんな期待に応え、本メルマガ「リバティ・パブ」の鳥原編集長の
企画で、3月から新入会員の自己紹介コーナーを設けることになる
ようです。
楽しみにしててください。

□□ _____ □□

2. お知らせ …2022岐阜全国大会の開催可否は4月初旬までに決定

□□ _____ □□

5月13日（金）に開催予定の「2022岐阜全国大会」の開催可否は、
遅くとも4月初めまでに決定します。
三度目の正直で開催できればいいのですが、コロナの状況次第です。

□□ _____ □□

3. トピックス … リーブル出版の「仏画集第四集」が
ジャグラ作品展で2回目の経済産業大臣賞受賞

□□ _____ □□

2年ぶりに開催された2021年ジャグラ作品展で、JSN会員の
高知リーブル出版（代表取締役坂本圭一朗）の『仏画集第四集』が
ジャグラ作品展の出版印刷物部門で経済産業大臣賞を受賞しました。
冊子は金銀の箔押し加工がふんだんに使われた豪華本で、依頼者は
前回の受賞（2012年）を知り、リーブル出版に注文をしたというこ
とで、大変驚かれ喜ばれたとのことでした。

□□ _____ □□

4. お知らせ …page2022で注目のオンラインカンファレンス・セミナー
「webと地域活性化による事業創造」
ー自社拠点を生かして事業を継続的に生む仕組みー

□□ _____ □□

page2022 / 2月9日（水） 13:30～15:00
オンラインカンファレンス・セミナー C4
「webと地域活性化による事業創造」

ー自社拠点を生かして事業を継続的に生む仕組みー

都道府県別の魅力度ランキングでも下位が定位置になってしまった群馬県。前橋市を本拠にする朝日印刷工業は、前橋を「本のまち」にしようと取り組みます。オンデマンド印刷ショップ、POD出版、電子書籍サイト「ぐんまの本棚」など…。出版社のない土地で、どのように出版需要を創造してきたのでしょうか。

公益社団法人日本印刷技術協会(JAGAT)研究調査部長 主幹研究員 藤井建人さんがモデレーターを務めます。

興味のある方はぜひご参加ください。

お申し込みはこちら↓

https://page.jagat.or.jp/session/detail_123.html

□□ _____ □□

5. 自費出版事情 … ～会員便り～ No.50

□□ _____ □□

3年目のコロナ禍

(有)一粒社 都築延男

ジャグラ会員でのコロナ禍を振り返ってみると、2020年6月のジャグラ文化典高知大会は、支部が力をいれて準備していたが中止、当ネットワークの岐阜全国大会も中止、2021年6月ジャグラ文化典大阪大会も中止、同じく岐阜大会中止、今年は、2022年6月ジャグラ文化典愛知大会は、開催予定で進めています。

私は、大会顧問として関わっています。しかし現在コロナ禍6波を見ながら進めていますが、今では今後どのようになるかは、判りません。当ネットワークの岐阜大会も同じだと思いますが、岐阜文芸社さんには、3年越しでの準備よろしく願います。

当社の自費出版においては、一般の印刷物の減少と比べれば、被害は少なく感じます。今思うことは、先日も愛知県印刷工業会の新年互例会での同業社の話に減収増益との声を聴きます。当社も同じで、仕事の減少を雇用調整助成金で賄いつつ社員を休ませて、給与の助成金を頂き、社員には全額給与保障をしての業務をしている現状ですが、もう2年越しでこのシステムが定着してしまい、「茹でガエル」状態になった気がします。

この助成も3月までと聞いていますが、オミクロン株の状況次第ですが、延長もあるかも知れません。

このままでは、社員の意識の中、勤労意欲自身に衰えは始まらないか心配をしています。2～3月は業界の繁忙期となりますので、助成金を使わずに仕事に励みたいものです。

□□ _____ □□

☆ 知っとこ 岐阜 ☆ (再)その9

□□ _____ □□

岐阜のご当地ソング

今でこそよく聞く「ご当地ソング」。タイトルや歌詞に都市名・地方名や各地の風習・文化など、地方色や郷愁を前面に打ち出した楽曲のことです。

この「ご当地ソング」という言葉、いつから始まったのかご存知でしょうか。特定の地域を歌った歌は昔から多くありますが、「ご当地ソング」として売り出したのは、1966年4月に発売された美川憲一の『柳ヶ瀬ブルース』が始まりといわれています。

今ではとても有名な歌ですが、もともとは作詞作曲を手掛けた宇佐英雄氏が、岐阜の歓楽街である柳ヶ瀬で流しをしながら歌っていた楽曲でした。この曲を日本クラウンのディレクターが気に入り、当時歌手として路線変更を迫られていた美川憲一に歌わせたところ、120万枚を超える大ヒットとなりました。

余談ですが、はじめこの曲を聞いた美川憲一は「明るい性格の自分には合わない」とあまり歌いたくなかったそうです。この曲の大ヒットによって、岐阜の柳ヶ瀬は全国的に知られるようになりました。梅宮辰夫主演で『柳ヶ瀬ブルース』は映画化もされています。

岐阜を舞台にした「ご当地ソング」で忘れてはならない曲がもう一つあります。1984年4月に発売された五木ひろしの「長良川艶歌」です。この曲は、第26回日本レコード大賞を受賞した他、TBSのザ・ベストテン『12年間ベストテン第1位』という大記録を作っています。長良橋の鵜飼舟乗り場前には、歌詞を彫った記念碑が建てられています。鵜飼の篝火を見ながらこの歌を口ずさむと、切ない恋の世界にどっぷりと浸ることができます！（笑）

株式会社 岐阜文芸社 飯尾みゆき

★あとがき

「お知らせ」にもありましたが、来月から「会員便り」のコーナーで新入会員の方のご紹介をしていきたいと思っています。ありがたいことに、個人も法人も含め会員数が増えています。なかなかお会いすることができないご時世なので、せめて文字を通してまずは温かい交流ができればと思っています。追々原稿依頼をさせていただきますので、何卒ご協力くださいませ。

まだまだコロナ禍で不自由な生活が続きますが、皆さまどうぞお身体大切に「光の春」をお楽しみください。

最後までお読みくださりありがとうございました。

お気づきの点、掲載情報、はたまた私への激励のお言葉がございましたら yumi@maruwanet.co.jp まで、お願いいたします。

◆日本自費出版ネットワーク事務局
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町7-16 ニッケイビル7階
電話：03-5623-5411
FAX：03-5623-5473

